学校番号	３２０

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	情報の表現と管理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	情報の表現と管理　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

みなさんが、この授業での学習を通して、「情報を活用する能力や態度」の基礎・基本を身に付けさ、その成果を今後の学習や仕事で活かしていくことを期待しています。

２　学習の到達目標

文字･画像･映像･音声などの特色や活用法を学ぶ。
コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎的･基本的な知識と技術を習得する。
情報を管理し活用する能力と態度を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の各分野に関する諸課題について関心をもち，その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。	情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的･基本的な知識と技術を基に，情報産業に携わる者として適切に判断し，表現する創造的な能力を身に付けている。	情報の各分野に関する基礎的･基本的な技術を身に付け，情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に活用している。	情報の各分野に関する基礎的･基本的な知識を身に付け，現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。
評価方法	授業態度 発問 レポート 観察等	発問 レポート 観察等	レポート 観察等	発問 レポート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	メディアの種類と特性	・メディアと表現 ・メディアと伝達	○	○			a：身の回りの「情報」という概念に気付くことができる。 b：情報伝達の方法と種類を分類することができる。 c：「情報」を意識し，使い分けができる。 d：メディアの種類，特性，発達の過程を理解している。	・発表態度 ・発問評価 ・課題提出
1	コミュニケーションの基礎	・コミュニケーションの成立 ・コミュニケーションの技法	○		○		a：送り手，受け手としての心構えを身に付けている b：状況に応じたコミュニケーション手段を選択することができる。 c：基本的なコミュニケーション技法が身に付けている。 d：コミュニケーションの種類と特性を理解している。	・発表態度 ・課題提出
2	情報の表現	・文書による表現 ・図解による表現 ・音による表現 ・画像による ・動画像による表現 ・プレゼンテーション ・ネットワークを利用した情報発信		○	○		a：文書作成の前提となる資料収集に積極的に関わったか。 b：読み手に合わせた文書構造を構築することができる。 c：動画像編集ソフトの使い方を身に付けている。 d：ネットワークの特徴，特性を理解できる。	・発表態度 ・課題提出 ・発表態度 ・発問評価
3	情報の管理	・ドキュメンテーション ・情報の管理 ・コンピュータによる情報の管理と活用	○			○	a：ファイリングやセキュリティ対策に積極的に取り組む。 b：利用場面に応じたファイリングを考えることができる。 c：形式にあったドキュメントを作成することができる。 d：セキュリティの技術が身に付いている。	・課題提出 ・発表態度 ・発問評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。